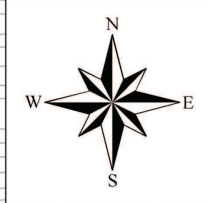


木曾川水系殿小川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)



- 凡例**
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 0.0m~0.5m未満
 - 0.5m~3.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 10.0m~20.0m未満
 - 20.0m以上
- 市町村界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域図の対象となる区間



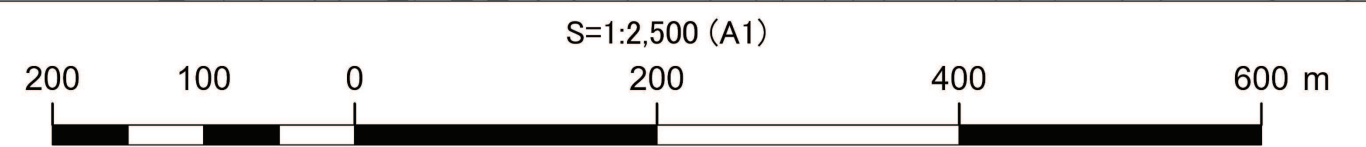
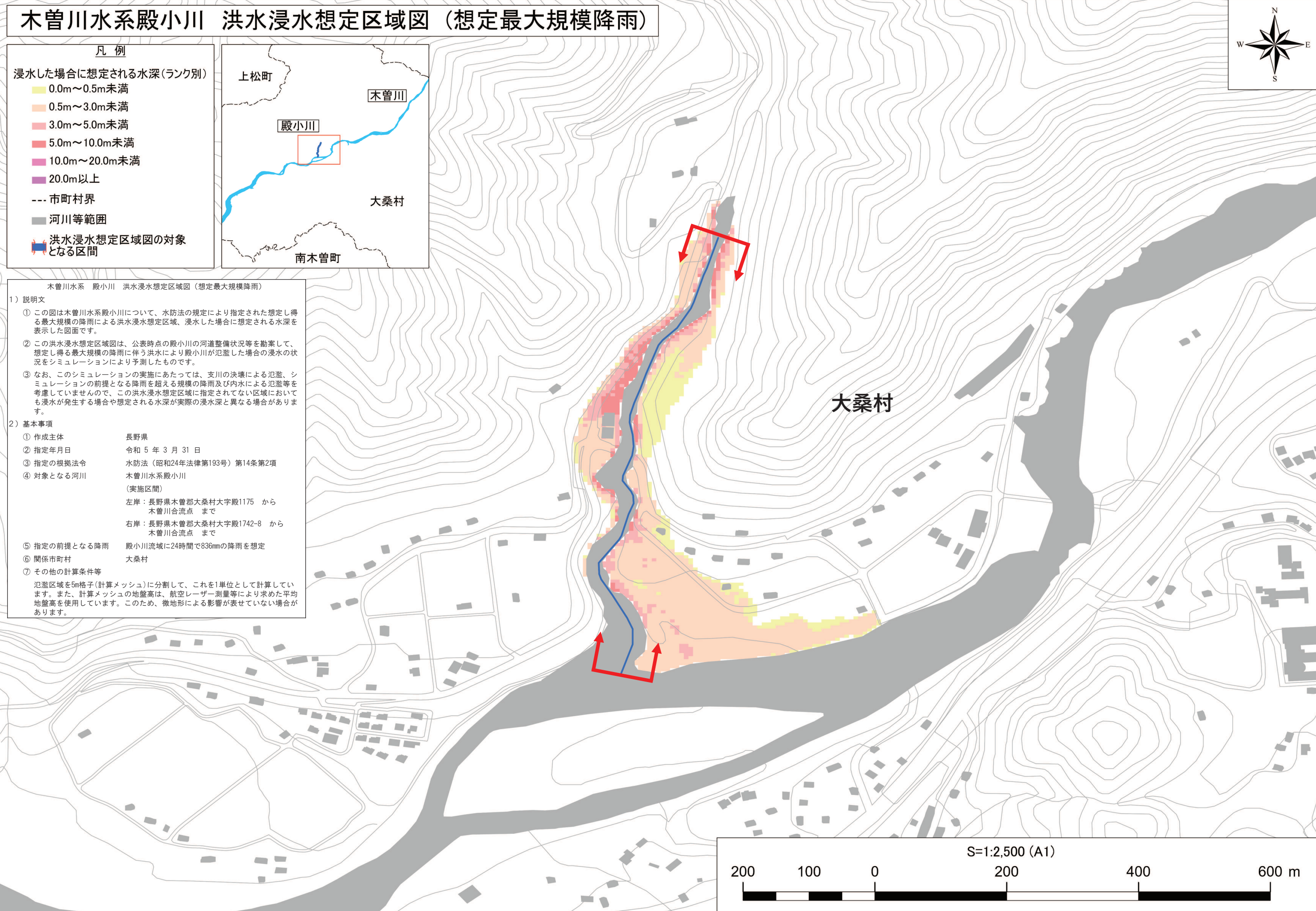
木曾川水系 殿小川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模降雨)

1) 説明文

- ① この図は木曾川水系殿小川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- ② この洪水浸水想定区域図は、公表時点の殿小川の河道整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により殿小川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2) 基本事項

① 作成主体	長野県
② 指定年月日	令和5年3月31日
③ 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
④ 対象となる河川	木曾川水系殿小川 (実施区間) 左岸: 長野県木曾郡大桑村大字殿1175 から 木曾川合流点 まで 右岸: 長野県木曾郡大桑村大字殿1742-8 から 木曾川合流点 まで
⑤ 指定の前提となる降雨	殿小川流域に24時間で836mmの降雨を想定
⑥ 関係市町村	大桑村
⑦ その他の計算条件等	氾濫区域を5m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs559)